



特集 明日のつくり手

## カワイイお化け大集合！

おおえ国際交流協会主催の「おおえハロウィンパーティー2016」が、10月23日に中央公民館で開催されました。ALTのデニス先生と山形県国際交流員のキャサリン先生が審査員となった仮装コンテストでは、80人以上の参加者の中から「怖いで賞」「かわいで賞」などの各賞に、10人の子どもたちが選ばれました。

平成28年

11

No.669

# 明日のつくり手

農業は、私たちの生活に欠かせない「食」の根幹を支えている産業です。しかし農家の高齢化が進む中で、次の世代を担う後継者の不足という問題に直面しています。

そんな中、近年本町では「OSINの会（大江町就農研修生受入協議会）」の積極的な活動などもあり、新規就農者や就農を希望する研修生の方が増えています。明日の農業を、そして町の将来を担う後継者を確保する取り組みと、担い手としての一步を踏み出した方々にスポットをあててみます。

## 次世代への期待 応える情熱次々と

農家自らが新規就農者を育てようと、「OSINの会（渡辺誠一会長・塩野平）」が平成25年に設立されて3年。東京を中心に開催されている就農希望者の募集イベント「新・農業人フェア」への参加をはじめ、精力的な活動を続けています。10名の受け入れ農家のバックアップにより、これまでに県外から移り住んだ7名の方が町内で独立し農家となりました。今年も7名の新規就農研修生が独立を目指して技術習得に励んでおり、これまでの本町への移住者は家族も含めると34名にのぼっています。

町では、就農研修生のために研修施設を無料提供しているほか、家族で移住した方への家賃や光熱水費の補助、新規就農者への農機具購入補助などの支援をおこなっています。また、10月には新規就農者のための共同作業所が望山地区内に整備され、今後3棟目の新規就農者用住宅も塩野平地区内に建設する予定です。さらに、今年度の新たな取り組みとして、新規就農者の農機具共同購入に対して補助をおこなう「農機具バンク」を実施しています。



菊地 大道ひろみちさん 菊地 良浩さん  
(梨木原)

農業大学時代、大道さんは中山間地における農業についての研究をおこない、今年2月の全国農業大学等プロジェクト発表会で特別賞を受賞。4月から米、トマト、野菜の栽培を始め、父・良浩さんとともに農作業の受託もおこなっています。

基幹産業である農業の将来のため、町と農家、関係機関が連携して次世代の農家の育成と支援を図る中、町内での農業経営に情熱を燃やす担い手は着実に増えています。家業を引き継ぎ地域一体の農業振興を目指す方、抱き続けた農業への思いを表現した方、異業種から新たなチャレンジを志す方——意欲あふれる町の新たな「つくり手」の方々を紹介します。

## 父の姿と地域の営み 農業とともに歩む

今年3月に県立農業大学校を卒業し、本格的に農家としての道を歩み始めた菊地大道さん。幼いころから父・良浩さんが農作業をする姿を見て育ったため、農業を受け継ぐのは自然なことだったようです。「小学生の時から、将来は農家にな



ると決めていました。高校生、大学生の時にも地域の農家の方の手伝いをしていて、いろいろと教えてもらっていました」

農作業を受託し、町内各地を回って作業している大道さん。訪れた地域の方から声をかけていただくことが、何よりの励みになっているそうです。

「他の農家の方や地域の方にいろいろな面で力を貸してもらえるのは、この町ならではのことだと思います。これまでたくさんの方にお世話になってきたので、いつか皆さんに恩返しできるように頑張っていきたいです。将来的には、地域の農家の皆さんと一緒に運営組織をつくり、経営を発展させたいと考えています」

### 農業を守るために 仲間と力を合わせて

町の農業を将来にわたって継続発展させていくためには、今ある田畑をいかにして守っていくかが課題だと、良浩さんは考えています。

「草の刈り方やスコップの使い方など、田畑を守っていくために必要なことを子どもたちにしっかり伝えていくことが大事です。私たち農家も、



OSINの会が設立以来年数回にわたって参加している「新・農業人フェア」。7月16日に東京国際フォーラムで開かれたフェアには、全国から196団体がブースを出展し、約1400人が来場しました。

後継者がやりやすい環境をつくっていかないとイケませんね」

現在、農協青年部に所属している農業青年は20人。情報を交換したり、共同で作業をおこなったりと、協力しながら町の農業を盛り上げている現状に、良浩さんも希望を持っています。

「新規就農者や地元若い世代の農家が増えてくれて、本当に助かっています。地域の農業者たちは、1つのチームのようなものだと思います。これからも、一緒に楽しく農業をやっていききたいですね」

# この町で見つけたモノ

## 試行錯誤とともに 自分で育てる喜び

今年度から本町で独立して農家となった村田さん。以前は神奈川県内で会社勤務をしていましたが、もともと農業に強い関心があったそうです。

農業経営への思いは次第に強くなり、40歳になったのを機に本格的に情報収集を開始。東京でおこなわれた「新・農業人フェア」に参加し、

ここでOSINの会に出会いました。「農家の方々が主体となって新規就農者の受け入れ体制の充実を図っている」という点で、他の市町村との違いを感じました。果樹のブランド化に力を入れていることも魅力だと思いました」

大江町で農家になる——そう決意した村田さんは、平成26年、奥さんと3人の子どもと一緒に本町へ移住。受け入れ農家の渡辺誠一さん（塩野平）、阿部藤一郎さん（堂屋敷）の

もとで2年間、果樹栽培のノウハウを学び、今年4月に念願の独立を果たしました。

「ゼロからのスタートは難しいものでした。でも、成功も失敗も含めて、自分で手をかけて作物を育て、それが形になって表れるということに大きな喜びがありますね。確かに農業は肉体的にも大変な仕事ですが、やりがいの方が大きいです」

## 挑戦の始まり これからを見ずえて

この日、村田さんはリンゴの収穫に向けた作業中でした。実の色づきを均等にするために、リンゴを一つ

ひとつ回して日に当たる角度を調整していきます。

「同じリンゴの木でも、一本一本に『性格』のようなものがあります。元気な木もあれば、そうでない木もある——同じ品質のものをたくさん作ることの難しさを痛感しました」  
町の農業のこれからについて話される村田さん。

「町内の子どもたちに農作業を体験してもらおう取り組みが現在もおこなわれていますが、後継者を増やしていくためにも、こうした取り組みを通じて子どもたちに農業の魅力を伝えていくことが必要ではないでしょうか」



### 村田 清也 さん（望山）

神奈川県出身。2年前、新規就農研修のために一家5人で本町に移住し、今年4月から独立して農業経営を開始。スモモ、リンゴ、ブドウ、西洋ナシを栽培。



町とさがえ西村山農協が望山地区内のJA本郷資材倉庫を改修し、新規就農者のための共同作業所として整備。10月17日に引き渡し式がおこなわれました。（写真左からさがえ西村山農協・柴田清志代表理事組合長、渡辺町長、OSINの会・渡辺誠一会長、新規就農者代表・村田清也さん）



阿部 陽介さん（深沢）

神奈川県出身。昨年から新規就農研修のために本町に移住。就農後はサクランボ、モモ、スモモ、ラ・フランスの栽培を予定。



### 受け入れ農家

菊地 敏美さん（深沢）

私は今年から受け入れ農家の1人となったので、私にとっても阿部さんは初めての研修生です。今年は、農作業の基本的なことからスモモの収穫まで、栽培の流れを一通り体験してもらいました。

売れる果物をつくるためには、初めの3年間で人に負けない木づくりをすることが大切で、他の研修生にもそう教えています。ゼロから果樹農家を目指すのは本当に大変なことです。阿部さんはいろいろなことに挑戦していますし、これからも先輩農家たちに学びながら、収益をあげられる農家を目指してほしいですね。

# 自然が教えてくれたコト

## 未知の分野で 思い描く経営の姿

昨年から新規就農研修を受けている阿部さんは、かつて東京でIT関連企業のマネジメントに携わっていました。共同経営という形で会社を立ち上げた経験から、今度は自身が経営者となって事業をおこないたいと思いつき、農業の道に進むことを決めたそうです。

「初めは、雪深い北国への移住は考えていなかったんですが……『新・農業人フェア』の会場で休憩していた時に、OSINの会の方が声をかけてくださった。他のブースではそういう声掛けをしていなかったもので、とても積極的な町だと思いました。いろいろとお話を聞いたら、受け入

れ体制も充実していますし、それで大江町で農業をやろうと考え始めたんです」

昨年1月から見学会などで本町を訪れ、移住を決断した阿部さん。奥さんと2人で深沢市内に居住し、昨年は菊地幸幸さん（深沢）のもとで研修を受け、今年は菊地敏美さん（深沢）に農業を学んでいます。

「農業の知識はまったくなかったんですが、受け入れ農家の方以外にも、いろんな農家の方に教えてもらえるので、ありがたいですね。他の市町村で同じく研修を受けている人にもうらやましがられています」

職場も生活の場も、以前とはまるで違う環境に飛び込んでの新しいチャレンジ。戸惑いや苦労はなかったのでしょうか。

「会社にこもりきりでパソコンと向き合う仕事を10年くらい続けていたから、初めは体力的にも厳しかったです。でも、きれいな空の下で、時計の時間に縛られず、自然の時間の流れとともに仕事ができる喜びは、農業をやってみて初めて実感したことです」

来年4月からの独立に向けて、準備に忙しい日々を送っている阿部さん。今後の目標をお聞きしました。

「農業をやろうと思った当初、自分の畑で取れた果物などを振る舞う『農家民宿』という形態を考えていました。実際に民宿ができるかどうか、今はわかりませんが、訪ねてきた人に匂のおいしいものをごちそうできるように、『もてなしのできる農家』を目指していきたいですね」

## 1 ■突然の豪雨への備えも ～大江町総合防災訓練～

日頃からの防災意識を高め、災害時の応急対策を学ぶための総合防災訓練が、10月2日に旧本郷西小学校で実施されました。今回の訓練は消防団第4分団管轄の本郷、七軒地区を対象とし、地区民や消防関係者など約250人が参加。初期消火訓練や濃煙内避難訓練、炊き出し訓練などをおこないました。

これに加えて、水害が起こった際に備える水防訓練が今年初めて組み込まれ、参加者は正しい土のうの作り方や積み方を体験しました。



## 2 ■利用広がる学びと憩いの場 ～町立図書館来館者1万人突破～

今年7月18日にオープンした町立図書館の来館者数が10月4日に1万人を突破し、1万人目の来館者となった伊藤梨生さん（小見）に、犬飼教育長から記念の花束が手渡されました。

伊藤さんは山形市立商業高校の3年生で、この日はテスト勉強をするために来館しました。図書館について伊藤さんは「個別の席があって勉強しやすいので、よく利用しています。読書も好きなので、新しい本があるのも嬉しいです」と話していました。

## 3 ■交流の拠点づくりに向けて ～旧きらやか銀行大江支店管理運営希望者～



町民の居場所と来訪者との交流の新たな拠点とする構想がまとまった旧きらやか銀行大江支店について、運営に興味を持つ管理運営希望者を募集したところ、団体と個人合わせて3組から応募がありました。この管理運営希望者による公開プレゼンテーションが、10月20日に中央公民館でおこなわれました。

7人の選定委員による審査の結果、町民有志で構成される「旧きらやか銀行利活用を考える会」が選定されました。今後、管理運営希望者の意見を反映させながら、旧銀行の利活用の構想を具体化し、設計を進めていく予定です。

## 新しい農業委員が決まりました

9月定例会で議会の同意を得て、13の方が新しい農業委員に任命されました。任期は平成31年10月7日までです。

また、初めての総会が10月11日に開催され、会長に菊地敏美氏（深沢）、会長職務代理者に鈴木一郎氏（楢山）が選任されました。

※農業委員は、町の農業振興のために地域の農地と担い手を守り生かす活動をしています。



▲10月11日に任命式がおこなわれました

(敬称略・議席番号順)	7 堀 陽一 (富沢)
1 明石 永七 (12区)	8 松田 繁 (貫見)
2 鈴木恵理子 (伏熊)	9 西田 和之 (9区)
3 公平 友和 (小漆川)	10 大泉 晴稔 (堂屋敷)
4 伊藤 真人 (小見)	☆11 鈴木 一郎 (楢山)
5 菊地美津雄 (深沢)	12 鈴木 文雄 (下北山)
6 荒木 由美 (月布)	◎13 菊地 敏美 (深沢)

◎…会長 ☆…会長職務代理者

# 3歳児 Smile Photo

10月5日に3歳児健診を受けた元気なちびっ子たちを紹介します! (順不同)



やまうち はるかちゃん  
山内はるかちゃん  
藤田



すずき あまね  
鈴木天音ちゃん  
小見



きくち まことちゃん  
菊地真子ちゃん  
深沢



せい の はると  
清野遥斗くん  
市の沢



すずき みやこ  
鈴木京ちゃん  
若原



もぢまる あきひろ  
最上成宗くん  
荻野



かしの あきひろ  
鹿野蒼大くん  
上北山



ながせ しの  
長瀬志乃ちゃん  
6区



あいざわ はる  
相澤千颯くん  
藤田



さとう まふ  
佐藤麻妃ちゃん  
山崎



ながい あきひろ  
長岡大翔くん  
小見



いとう あい  
伊藤翠ちゃん  
みなみ



いしかわ あい  
石川咲綺ちゃん  
みなみ



はやし りん  
林蘭くん  
望山



さいとう あゆむ  
佐藤歩夢くん  
滝の沢



たかとり りんたろう  
高取莞太くん  
荻野



たかはし りん  
高橋凜ちゃん  
藤田



せい の くら  
清野蔵くん  
蛸水



あべ あい  
阿部碧依ちゃん  
堂屋敷



こうへい りん  
公平彩羽ちゃん  
小見

虫歯ゼロの子は  
23人でした



かとう りんか  
加藤六花ちゃん  
蛸水



さとう ももこ  
佐藤桃乃ちゃん  
貫見



ごとう だん  
後藤暖くん  
13区



すだ やまと  
須田大和くん  
藤田



わたなべ あいか  
渡邊愛夏ちゃん  
藤田

※お問い合わせは、健康福祉課 ☎(62)2114まで



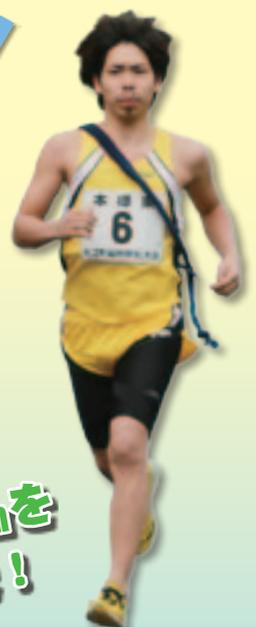
ゴールへつなぐ たすきに込めたチームの思い

# 号砲とともにスタート!



## 町縦断駅伝コース略図

★…スタート・ゴール ◎…中継所



24.1kmを  
激走!



第37回

# 大江町縦断駅伝競走大会

## 出場チーム

- ①左沢北
- ②藤田A
- ③藤田B
- ④左沢南
- ⑤三郷
- ⑥本郷東
- ⑦本郷南A
- ⑧本郷南B
- ⑨本郷中
- ⑩本郷西

秋の町内を走り抜ける大江町縦断駅伝競走大会が、10月9日に開催されました。今年で37回目となったこの大会には、町内各地区から10チームが参加。総勢70名のランナーが、柳川温泉から中央公民館までの7区間、総距離24.1kmを走破しました。

時折小雨が降る肌寒いコンディションの中で、選手たちは各区間を力走。沿道で応援する皆さんからの温かい声援を受けて、次の選手へと懸命にたすきを繋いでいました。



最高の瞬間！

### 大会結果

- 優勝／本郷南A … 1時間22分47秒
- 準優勝／本郷西 … 1時間24分47秒
- 第3位／本郷東 … 1時間25分14秒

### 大会新記録

清野大地さん(堂屋敷) … 第5区間 13分26秒



## 10/2 レトロなコラボに夢中

歴史的な街並みの中で愛好家の自慢の車が勢ぞろいする「クラシックカー&古い街並 in おおえ2016」が、10月2日に開催されました。この日は県内外から集まった74台のクラシックカーと17台のバイクが、原町・内町・横町通りにずらりと並び、古き良き町のたたずまいとの共演に、訪れた人々は目を輝かせて見入っていました。

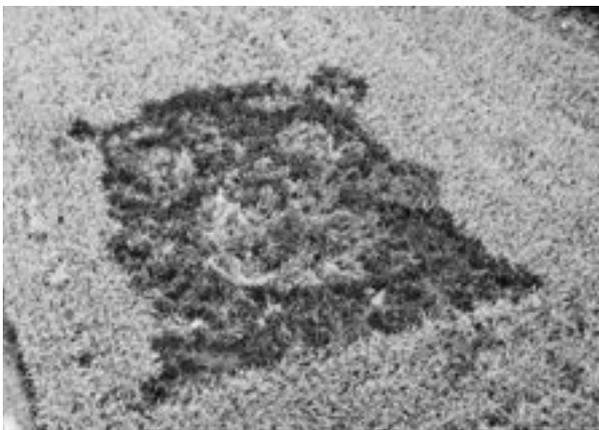
今年中央通り第1駐車場にバイク専用の展示場が設けられ、中には大正時代に製造された貴重なバイクも。出展者が愛車を起動すると、往年の迫力あるエンジン音がよみがえっていました。



## 9/29 食を通じて交流深める

亘理町食生活改善推進協議会の会員13名が9月29日に来町し、本町の食生活改善推進協議会会員との交流会が中央公民館でおこなわれました。この交流会では、亘理町の清野珠美子会長から「被災者支援事業おいしい輪」などの活動が紹介され、その後「えごまプリン」や「赤ごみのごま油醤油あえ」など、本町産の食材を用いた料理を一緒に試食しました。

亘理町の参加者の方は「地元にはない山の幸を味わえてよかったです。今度は亘理町にもぜひいらしてほしいです」と話されていました。



## 10/11 被災地復興を願って

さまざまな色の稲を組み合わせ水田に文字や絵柄を描く「田んぼアート」が、塩野平地内の水田に今年も登場しました。地域の農家の方が中心となって作り始めたもので、近年は本郷東小学校の5年生が農業の学習のために参加しています。

今年の絵柄は、熊本県のご当地キャラクター「くまモン」。4月に起こった熊本地震の被災者にエールを送ろうと選ばれました。10月11日には小学生も参加して稲の刈り取りがおこなわれ、子どもたちは泥だらけになりながら楽しんで作業をしていました。



## 10/4 自分で取ったお芋は最高！

さがえ西村山農協青年部大江支部が、食農教育の一環として園児たちの農業体験を実施しました。今年5月にわかば保育園の園児たちが苗を植えた「つるり里芋」は9月下旬に収穫期を迎え、園児たちが収穫作業を体験しました。

そして、農協青年部の皆さんと全園児が参加しての芋煮会が、10月4日にわかば保育園の園庭でおこなわれました。暖かい日差しが降り注ぐ中で、園児たちは自分で植えて収穫した里芋を食べ、「甘くておいしい！」と笑顔を浮かべながら味わっていました。



## 10/10 川辺で天然アユづくし

地元の天然アユを味わう「清流月布川鮎まつり」が、10月10日に一本橋公園でおこなわれました。このイベントは、大江をみんなで考える会(会長：渡辺勉さん・滝の沢)などが協力して開いているもので、今回で23回目となります。

今年は月布川のやな場で捕れた約2千匹のアユが用意されました。会場には午前中から大勢の来場者が列をつくり、天然アユの塩焼きやアユ入りの炊き込みごはん、ボリュームたっぷりの芋煮など、地元で捕れた秋の味覚を存分に堪能していました。



## 10/7 チームワークで快挙達成!

第10回公式ワナゲ全国交流大会が、10月7日にヒルズサンピア山形で開催されました。本町からは小見睦会と小漆川笑和会<sup>むつみ</sup>が出場し、このうち小見睦会が参加72チーム中、見事9位入賞を果たしました。出場したのは、伊藤一弥さん、伊藤金作さん、伊藤昌江さん、西田良さん、新井ヨシ子さんの5人。伊藤一弥さんは個人部門第1位とパーフェクト賞を獲得しました。

出場した皆さんは「チームワークのおかげで入賞できたと思います。次回はゼッケンや旗を作って出場したいです」と喜びを話されました。



## 10/22 やまがた地鶏の秘密に迫る

町内各所を訪れていろいろな角度から町の姿を知る「おらだのまち探訪」が、10月22日におこなわれました。この日は、富沢地内に今年8月に開所した食鳥処理施設を見学。施設の指定管理者である兼子土木株式会社の庄司一彦さん(12区)と、大江町産業振興公社専務の高取和彦さん(荻野)から、町産のやまがた地鶏について詳しいお話を聞きました。

参加者からは、やまがた地鶏の飼育や販売の現状について多くの質問が寄せられ、町の新たな特産品への期待の大きさがうかがえました。



## 10/13 短時間でも効果は抜群!

正しいストレッチを健康に生かすための「ストレッチ健康講座」が開かれました。この講座は今年初めて開かれたもので、ストレッチトレーナーの清野崇広さん(市の沢)を講師に迎え、効果的なストレッチや運動を3回にわたって体験するものです。

10月13日には、食事と運動をテーマとした3回目の講座がふれあい会館で開かれました。この日は、糖質を減らす食事のコツを清野さんが分かりやすく解説。その後、参加者は基礎代謝を上げるためのトレーニングを実際に体験し、慣れない動きに汗を流しながら効果を実感していました。

どこに近寄っているか、何を引き寄せているか。海か、山か、川か……友人と話すといつも「近くに何があったか」という話題が多い。大きな魚を釣ったとか、マツタケを採ったとか、アユの友釣りが絶好調だとか、今と昔を交えた風土の話題には罪がなく、海人、山人、川人の競演となつて楽しい時間となる。

都会で暮らす友人には、海も、山も、川も遠くて、わざわざ出掛けなければ、海・山・川の香りは届かない。癒しの時間を友人に強く求めたいとは思わないが、あの人がどうだとか、この人がなんだとか、という話題はありがたくはない。「人」に関わる話題には、時として罪があり、耳だけではなく、目もふさいで、心まで閉じるようなこともある反面、他人の悪口は最高の酒の「つまみ」だという人も確かにいらっしゃるようで、「人」を語る楽しみからの解放もこれまた難しいようだ。

「人」を語るか。「人以外」を語るか。語れるのは——自信を持って語ることができるのは、「身近にあること」には違いない。目元、耳元に遠近取り分けながら、丁寧に優しく、自分のそばまで引き寄せて語ることになる。「人」も「人以外」も遠くのを語りかけることが多くなつたのは時代の波か、それとも遠くからしか語れない進化の発現であるか。「かかった魚を手元に引き寄せなければ、魚の正体は分からない、分からないものを語れる訳がない」と、「全国豊かな海づくり大会で聞いた言葉の意味は大きい。」

大江町長 渡邊兵吾

## 地域おこし協力隊通信 No.28



ブーン、ポトツ。ん、何か匂う…。今年ももうそんな季節。のびのびと空を飛び回るカメムシたちも暖かさを求めてこっそり我が家に侵入してきているようです。毎朝玄関の扉を開けるたびにポトポト落ちていく様子は小学生の頃に流行った黒板消し落としを思い出させます。

話は変わって今年の夏、ひょうなことから新聞社の記者さんから連絡があり、沢口区の方を紹介することになりました。山で暮らし、山に関わり続けてきた方の人生のお話を伺いたいとのことでした。「山のはなし」という特集で綴られていた記事は、辛く切ない時代の背景がありつつも、とても温かいものでした。連絡をくれたきっかけは、毎月発行している「あどばい日記」で地域の方を紹介したことでした。とても小さなことではありますが、地域に眠るすてきで温かい物語が多くの人のもとへ届いたことがとてもうれしかったです。

あどばい日記も今月で13号目(11月22日発送予定)。毎月地域のみなさんにお手紙を書き始めて1年が経ちました。地域おこし協力隊 野木桃子



↑山形新聞掲載「山のはなし」(H28.8.7) 大沼健藏さん(沢口)

### ● 短歌 ●

みちのくの出湯に浸る老姉妹深まる秋を満喫想う

菅井 妙子

秋晴れの柏陵荘の庭園に鉢植花の風に吹かるる

松田 馥

ポケモンゴー我が家の中でピカチュウをゲットしたよと孫大歓喜

佐竹磨砂湖

北国に冬將軍の到来し暑き日々から寒さに変わり

長岡かつ子

旧友の活躍知りて喜びと寂しさ交る秋の夕暮

山家 重之

来る年も畑に出たいの思いあり色褪せし作務衣また仕舞い置く

菊地つねよ

小春日の節くれの手に撮みどり一升程の黒豆得たり

佐竹 與鼓

雲間より朝日さしこみたまゆらに秋空高くおおき虹たつ

齋藤 徳治

### ● 俳句 ●

金木犀香り漂う寺屋敷

菅井 妙子

提灯をかざして祝う秋祭

鴨田富士夫

山住みの照り映えてある初紅葉

松田 馥

草もみじ風もぐり込み波を打つ

今井 茂樹

十三夜上着はおれと母の声

阿部 一風

朝夕に拾ひに行く子木の実落つ

山家 重之

秋刀魚の値議題にあがる区のとどひ

金子脩一郎

刈り上がり稲穂の波の消えにけり

清野今日子

仏壇に声かけてある暮の秋

熊谷 勉

鬼の子も浮世の風に身を任せ

舟山 三男

それぞれの個性あふるる文化祭

伊藤 啓泉

## 吟遊浪漫

ぎんゆうろまん

※このコーナーに掲載ご希望の方は、毎月20日(必着)まで役場総務課に作品をお寄せください。

# 本の世界に憧れて

岡崎 七海さん (22歳・9区)

高校卒業後、短期大学で図書館学を学び司書の資格を取得した岡崎さん。仙台市で就職した後、今年9月から寒河江市内の自動車会社で経理の仕事をしています。

小さいころから読書好きで、ジャンルを問わずいろいろな本を読み、多いときには年間150冊ものペースで読んでいたそうです。この日も、町立図書館で借りた本を返却しに来られていました。

「子どものころに好きだった本が図書館にあったので、懐かしくなって借りちゃいました。今、特に好きなのはヒューマンドラマですね。本を読んで思い切り泣くのが、ストレス解消法なんです」

最近では仕事が忙しく、本を読む時間がなかなかないと残念がる岡崎さんですが、実は大きな夢を抱いています。

「高校生の時、友達と2人で絵本を作ろうと話していたんです。1冊でいいので、いつか自分の本を残せたらいいなと思っています」



★ Youthful ★  
★ トーク ★

シリーズ企画

月刊

## 仲間とエンジョイ!

町内でスポーツや文化活動などを楽しんでいる皆さんをご紹介します。

### 大江町グラウンドゴルフ協会

会長：佐藤 和雄 さん (13区)

町内でグラウンドゴルフを愛好する方が集う、大江町グラウンドゴルフ協会。現在、会員は約80名にのぼり、火・木・土曜日の週3回、森ノ宮公園で練習をおこなっています。

11月には、子どもたちにグラウンドゴルフの楽しさを知ってもらおうと、協会の皆さんから左沢小学校と本郷東小学校にグラウンドゴルフの道具一式が寄贈されました。

会長の佐藤和雄さんは、「ホールインワンを出した人が100円ずつ出し合う『ホールインワン基金』の支援を受けて、道具一式を購入し小学校に贈りました。将来、子どもたちがグラウンドゴルフを楽しんでくれたら嬉しいです」と話してくださいました。



▲森ノ宮公園で練習に励む皆さん



▲11月1日、左沢小学校への贈呈式の様子

# お知らせ

## Information

### 大江町表彰者の内申について

大江町表彰条例に基づき、個人または団体で町の政治、経済、文化、社会、その他各般にわたって町政振興に寄与し、または他の模範と認められる方の表彰をおこないます。11月18日(金)まで、各企業および団体などからの内申をお願いします。

☎総務課庶務係 ☎(62)2112

### 高齢者世帯などの雪下ろし・玄関除雪支援について

高齢者や障害者の冬期間の暮らしを守るため、雪下ろしや玄関除雪の支援をおこないます。

◆支援対象世帯(すべてに該当)／

- ①大江町民で実際居住している世帯、
- ②町民税(所得割)非課税世帯、③高齢者や障害者のみの世帯、または自力で雪下ろしなどができない世帯、
- ④子や親戚などから雪下ろしなどの支援(経済的支援を含む)をしてもらえない世帯

◆支援の内容／住宅の雪下ろし、そ

れに伴う住宅周辺の除排雪、除雪車通過後の玄関の除排雪作業に要した費用の一部を支援

◆支援額／対象となる経費の9割

※雪下ろしの対象経費は1回につき2万5千円、3回分までが上限

※玄関除雪は回数制限はありませんが、対象経費は2万4千円が上限

◆留意事項／①店舗、農作業小屋、倉庫、車庫、他人に貸している住居は支援対象になりません。②雪下ろしなどの依頼は、必要な時期に直接事業者などに依頼してください。③できる限り、子や親戚などの方のご協力をお願いします。

◆利用申請／申請書は11月21日(月)まで地域の民生児童委員にお届けいただくか、11月25日(金)まで健康福祉課へご提出ください。申請書は地域の民生児童委員または役場健康福祉課に準備しています。

☎健康福祉課福祉係 ☎(62)2285

### 創業を考えている皆さんへ 商工会がお手伝いします

商工会では、事業や商売を始めようと考えている方を対象に、事業プランの個別相談会を開催します。

事業を始めようという重要なのは、

### 大江町教育文化振興基金活用事業

## ぷくらすコンサート

～弦楽四重奏の夕べ～



- ◆出演／山形弦楽四重奏団  
※倉田讓さん(みなみ在住)所属
- ◆期日／11月14日(月)
- ◆場所／中央公民館 町民ホール
- ◆時間／開場19時 開演19時半
- ◆入場料／無料

※入場には入場整理券が必要です。中央公民館およびふれあい会館にて配付しています(先着200名)。

☎中央公民館 ☎62-3666



### 集え！餅つき男！ 男の料理教室

ふんわりとやわらかく、かじればなめらかな舌触り、もっちりとした杵つき餅は、まさに本物の味です。

ワンコインで正月料理をマスターし、来年はみんなを笑顔にしましょう！  
食生活改善推進員が優しくサポートしますのぜひご参加ください。

◆対象／50歳以上の大江町在住の男性 定員15名

きちんとした事業計画を立てることです。また、開業に必要な届け出や資金の調達、販路の確保など、クリアするべき課題は数多くあります。相談会を機会に、事業プランを現実のものにしてみませんか。

◆日時／11月14日(月)10時～15時

◆場所／交流ステーション

◆申込／事前にお電話ください。

※当日以外でも、随時相談をお受けしています。

☎大江町商工会 ☎(62)4128

善意いただきました



さがえ西村山農業協同組合および全国共済農業協同組合連合会山形県本部より、10月21日に町へ4基のカーブミラーを寄贈していただきました。

カーブミラーは各地区からの要望を踏まえて町内各所に設置し、安全性の向上のために活用させていただきます。

無料Wi-Fiが使用できます!



このたび役場庁舎内で無料Wi-Fiが使えるようになりました。メールアドレスとパスワードの登録で、どなたでも無料でインターネットへ接続できます。

すでにWi-Fiが使用できる中央公民館で利用登録された方は、新たな登録をせずにサービスを利用できます。

各課からのお知らせや観光情報の取得などに、ぜひご活用ください。

※1回の接続で60分間利用できます。

編集後記

本でも広く浸透しつつあるハロウィン。子どもたちが妖精やお化けに仮装して家々を回り、お菓子をねだるといふ風習が有名です。「おおえハロウィンパーティー」では、西洋の妖精や映画などのキャラクターに扮した参加者が多かったのですが、中には日本の幽霊や妖怪もちらほら。地域ゆかりの妖怪などに限定した「百鬼夜行」のようなハロウィンになったら、新しい伝統行事として根付くかも? (伊藤智治)

- ◆日時/12月7日(水)10時~13時
◆メニュー/杵つき餅(くるみ・納豆)、紅白なます、雑煮
◆持ち物/エプロン、三角巾
◆会場/ふれあい会館
◆参加費/500円
問 健康福祉課保健衛生係 ☎(62) 2114
西村山・北村山地域議員協議会を開催します

県議会では、それぞれの地域の課題や施策などについて地元議員が審議をおこなう地域議員協議会を各総合支庁で開催します。
県議会の活動を身近で傍聴できる

危険ドラッグ撲滅運動強化月間

- 問 山形県議会事務局政策調査室 ☎ 23(630)2845
◆場所/村山総合支庁西村山地域振興局(寒河江市)

11月は、「山形県危険ドラッグ撲滅運動強化月間」です。
「危険ドラッグ」には、人体に有害な作用を及ぼす物質がふくまれている

人権週間について

- 問 健康福祉課保健衛生係 ☎(62) 2114
「合法」「脱法」などの甘い誘いにのらないでください。

12月4日から10日は人権週間です。この期間に合わせ、相談会などをおこないます。困りごと、心配ごとがあるときは一人で悩まず、お気軽に

- ご相談ください。秘密は厳守します。
【人権なんでも相談所】
◆期日/12月3日(土)10時~15時
◆会場/フローラ・SAGAE
※法務局職員と人権擁護委員が相談に応じます。
【人権相談】
◆期日/12月5日(月)13時~15時
◆会場/役場102会議室
※人権擁護委員が相談に応じます。
【人権書道展】
◆期間/12月1日(木)~12日(月)
◆会場/ふれあい会館ロビー
ぜひご覧ください!
問 税務町民課戸籍年金係 ☎(62) 2113

# 思い出の

## まいぞうひん

# My蔵品

皆さんの心に残る思い出の品を、それにまつわるエピソードとともにご紹介します。



◀これまでに収集した、約1500点の映画パンフレットの一部。ジャンルもさまざまです



▶外箱付き、福袋入り、ビデオテープ型と、一風変わったパンフレットもあります

20代のころから、見た映画のパンフレットを収集し始めました。映画館でもらったもの以外にも、知人から譲ってもらったものなどもあり、現在では1500冊以上になっています。今回は、その中でも風変わりなパンフレットを選びました。

ビデオテープのような形をしたインド映画のもの、福袋に入った邦画のパンフレットなど、「思い出のMy蔵品」の設定とは異なるかもしれませんが、パンフレットコレクションのすべてが思い出となっています。

(13区 村上正義)

★皆さんの思い出の詰まった「宝物」はありませんか？ 懐かしい写真、長年愛用している道具、旅先で購入した記念の品など、なんでも結構です。総務課情報システム係 ☎(62) 2187まで、ぜひお知らせください。

## 戸籍のまど

9月21日～10月20日受付分

### お誕生おめでとう

区名	氏名	性別	父母名
藤田	古沢 昊雅 <small>こうが</small>	男	修雅・有香
小見	レイニング <small>らいる</small> 頼路	男	マッシュー・享
三合田	柏倉 冰哇 <small>ひうね</small>	女	航宇・祥賀
小漆川	鈴木 蒼空 <small>そうら</small>	男	絃一・茜
堂屋敷	清野 桃果 <small>ももか</small>	女	正浩・かよ子
小見	公平 碧羽 <small>あおば</small>	男	達也・彩

### ご結婚おめでとう

区名・出身地名	氏名
9区 金山	拓
山形市 長岡	美絵子

### ご冥福を祈ります

区名	氏名	年齢
12区	鈴木 勇吉	(85)
若原	中山 辰雄	(88)
下北山	鈴木昭右エ門	(89)
藤田	宇津江ユキエ	(92)
3区	清野コハル	(90)
木の沢	古藤 ナヨ	(94)
木の沢	佐藤ひろゑ	(91)
下北山	安孫子まさを	(88)
1区	後藤 留藏	(88)
市の沢	清野 謙藏	(86)
みなみ	菊地 義昭	(58)
9区	結城義太郎	(92)

### 人口と世帯(前月比)

町の人口	8,615人(-14)
男	4,256人(-6)
女	4,359人(-8)
世帯数	2,927戸(+3)

平成28年11月1日現在

※掲載を希望しない場合は、届け出の際にお申し出ください。